

令和3年第7回白石町議会定例会会議録

会議月日 令和3年12月13日（第4日目）
場 所 白石町役場議場
開 会 午前9時30分

1. 出席議員は次のとおりである。

1番	吉岡正博	9番	大串武次
2番	岸川信義	10番	吉岡英允
3番	友田香将雄	11番	草場祥則
4番	重富邦夫	12番	井崎好信
5番	中村秀子	13番	内野さよ子
6番	定松弘介	14番	西山清則
7番	前田弘次郎	15番	溝上良夫
8番	溝口誠	16番	片渕栄二郎

2. 欠席議員は次のとおりである。

なし

3. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者は次のとおりである。

町長	田島健一	副町長	百武和義
教育長	北村喜久次	総務課長	千布一夫
企画財政課長	坂本博樹	総合戦略課長	山口裕一
税務課長	久原浩文	住民課長	江島利高
保健福祉課長	矢川靖章	長寿社会課長	武富健
生活環境課長	土井一	農業振興課長	木須英喜
商工観光課長	吉村大樹	農村整備課長	中村政文
建設課長	笠原政浩	会計管理者	溝口真由美
学校教育課長	出雲誠	生涯学習課長	谷崎孝則
農業委員会事務局長	久原正好		

4. 議会事務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

議会事務局長	久原雅紀
課長補佐	中原賢一
議事係書記	緒方千鶴子

5. 会議録署名議員の指名 会議録署名議員に次の2人を指名した。

14番	西山清則	15番	溝上良夫
-----	------	-----	------

6. 本日の議事日程は次のとおりである。

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 議案第47号 専決処分の承認について（令和3年度白石町一般会計補正予算（第6号））

日程第3 議案第48号 白石町過疎地域持続的発展計画の策定について

日程第4 議案第59号 令和3年度白石町一般会計補正予算（第7号）

日程第5 議案第60号 令和3年度白石町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

日程第6 議案第61号 令和3年度白石町下水道事業会計補正予算（第1号）

9時30分 開議

○片渕栄二郎議長

おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

日程第1

○片渕栄二郎議長

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第119条の規定により、本日の会議録署名議員として、西山清則議員、溝上良夫議員の両名を指名します。

日程第2

○片渕栄二郎議長

日程第2、議案第47号「専決処分の承認について（令和3年度白石町一般会計補正予算（第6号））」を議題とします。

質疑ありませんか。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第47号「専決処分の承認について（令和3年度白石町一般会計補正予算（第6号））」を採決します。

本案を承認することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第47号は承認することに決定しました。

日程第3

○片渕栄二郎議長

日程第3、議案第48号「白石町過疎地域持続的発展計画の策定について」を議題とします。

質疑ありませんか。

○吉岡英允議員

おはようございます。

すみません、タブレットが今私のちょっとおかしくて開かれんけんがちょっとあれですけども、説明会の折に、私聞いたかと思えますけども、杵藤地区の葬祭場の件で多分質疑をしたかったかと思えますけども、文言を削除してつけられたほうが高齢者の方についてはありましたので、そこんところを再度また回答のほうを求めたいと思えます。

○山口裕一総合戦略課長

御質問の件につきましては、具体的に申しますと26ページのほうになると思えます。

高齢化の進行による火葬の増加に伴いという文言が適切ではないのではないかとということでございますけども、ここに関しましては表現が強過ぎる部分でございます。高齢者の皆様の心証を配慮いたしますと、削除したほうがよいと判断されます。本議会後にはなりますけれども、佐賀県と修正についての協議を行いまして、了承を得れば、高齢化の進行による火葬の増加に伴い、この文言を削除させていただきます。その後、計画に反映するように対応させていただきます。

○吉岡英允議員

そのように県と協議し、修正のほうをお願いしたいと思います。

また、ほかの文言についても再度よく読んでいただいて適切な表現にしてください。よろしく申し上げます。

○片渕栄二郎議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これで質疑を終わります。

討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これより議案第48号「白石町過疎地域持続的発展計画の策定について」を採決します。

本案に賛成の方は起立願います。

[賛成者起立]

起立全員です。よって、議案第48号は原案のとおり可決されました。

日程第4

○片渕栄二郎議長

日程第4、議案第59号「令和3年度白石町一般会計補正予算（第7号）」について議題とします。

これより質疑を行います。

なお、質疑の際は、予算に関する説明書の何ページ、予算説明資料の何ページとばかりお示してください。

まず、歳入関係で予算書の9ページから14ページまで質疑ありませんか。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

なければ、次に歳出関係で予算書の15ページから33ページについて質疑ありませんか。

○前田弘次郎議員

説明資料の3ページ、畜産被害対策事業のところで伺います。

協議会の中でも聞きましたが、この被災して、使用不能となった生産資材の後処理といますか、例えば肥料とかなんとかの飼料を処理するのに蓋を農家の方が買ってらっしゃるのか、それに対して町から何かされているのかどうか伺いたしたいと思います。

○木須英喜農業振興課長

全協のときにありました関連の質問ということで理解しております。

あの後、JAのほうの畜産の担当の者に確認をいたしました。それで、今回の対象となっている飼料、配合飼料等の飼料、あと敷料、わらとかそういったものの処分が今回申請で上がってきておりますが、これにつきましてはほとんど植物由来のものということであるため、堆肥化施設において堆肥と一緒に混ぜ込んで処理を行ったということでした。なお、JAの有機センターのほうでは、この持込みについては無料で実施をしたというところを伺っております。

以上です。

○片渕栄二郎議長

ほかに質疑ありませんか。

○吉岡正博議員

予算書では30ページになりますが、事業説明書の7ページ、タブレット画面では11ページになります河川総務費についてお尋ねいたします。

西田樋管と馬田樋管に排水ポンプを増新設していただきます予算案につきましては、1年置き、2度の浸水被害に遭われました地区につきましては非常に朗報だと思います。それも新年度予算ではなくて、補正予算で対応されることは町役場の姿勢が非常

に地元には伝わるものだと思っております。

そこでなのですが、完成の時期についてです。先日、説明では8月頃というお話だったと思いますが、それを少しでも早めることができないのでしょうか。梅雨の前に供用開始になるようできないか伺いたします。

○笠原政浩建設課長

ポンプの設置について早めにはできないかというようなことでございますけど、今朝の情報によりますと、ポンプの製作に半年ぐらにかかるといふような情報も入ってきております。基本的には、早めに設置をしたいというのは重々分かりますけど、状況が状況だけにそういった形になろうかと思っております。ただ、予算議決後に早急に来年早々にでも発注をして、発注した後は業者のほうにも早めに製作をお願いするといふような形で、できるだけ早い段階で設置ができるように努めていきたいというふうに考えております。

以上です。

○片渕栄二郎議長

ほかに質疑ありませんか。

○友田香将雄議員

先ほどと同じで、予算書30ページで河川総務費のところでの質問です、私も。今回ポンプを2つ増設また新設されるということですが、一応改めての確認です。今年の災害であったり、2年前の浸水のところにこのポンプを設置することによって、それを抜本的に解決することはなかなか難しいかなというふうに思っています。ただ、床上浸水だったところが床下になるとか被害の軽減対策にはとても有効的であるかなというふうに私としては捉えているところであります。それも含めて、今後の整備についての、今後のほかの地域また抜本的な解決に向けての今後の動きとか考えがあればそちらのほうも併せてお願いをします。

○笠原政浩建設課長

町全体の計画につきましては、現在進めております流域治水対策推進事業の中で検討をしていきたいと、対策のメニューについて検討していきたいというふうに考えておりますけど、根本的に大きな排水ポンプが必要だったりだとかであれば、整備に要する時間とかというものがものすごくかかってくると。補助事業であれば、申請する時期も、タイミングというのにも必要になってまいりますので、今回の場合につきましては先ほど議員申されましたとおり、床上浸水等の被害をできるだけ少なくする、軽減するといふような目的で、短期的に設置ができるポンプをとということで整備を進めております。町内そういったところがまだまだございますので、今後も役場の中で関係部署と連携を取りながら、どこにどういった形で設置をするのかというのも含めて検討してまいりたいというふうに考えております。

以上です。

○内野さよ子議員

吉岡議員、友田議員との関連になりますけど、この補正予算については皆さんが補正でされたということでもとても安堵されたと思っています。ただ、これは先ほども言われましたけど、あくまでポンプの設置については有効な手段にはなりませんけど、全面的にこれで解決するというものではありません。それで、今回水の教訓を得たんですね。もうちょっと水を落としておけばよかったとかいろんなどころがあったと思います。説明にも以前ありましたけど、ここの地域はものすごく水が流してあったとかいろんなどころがありますので、六角川周辺については特にクリークの水、あるいは川の水については極力皆さん徹底して落としていかれるように。今はもう天気予報でかなり分かりますので、行政のほうからも言いにくい点があるという表現を前されていましたが、そういうところを徹底してされるように、間に合わないと思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。これは補正とはちょっとあれかも分かりませんがお願いします。

○笠原政浩建設課長

議員申されますとおり、ポンプを設置したから基本的には浸水が解消できるといったものでもございません。当然、今まで取り組んでまいりました事前排水だとかそういったのと複合というか、そういったのと併せて排水することが最も重要ではないかというふうには考えておりますので、今後とも地元の方あるいは操作員の方等々と連絡を取りながら、そこらへんも含めて調整をしていきたいというふうに考えております。

以上です。

○片渕栄二郎議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これで質疑を終わります。

討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これより議案第59号「令和3年度白石町一般会計補正予算(第7号)」について採決します。

本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第59号は原案のとおり可決されました。

日程第5

○片渕栄二郎議長

日程第5、議案第60号「令和3年度白石町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）」について議題とします。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第60号「令和3年度白石町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）」について採決します。

本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第60号は原案のとおり可決されました。

日程第6

○片渕栄二郎議長

日程第6、議案第61号「令和3年度白石町下水道事業会計補正予算（第1号）」について議題とします。

質疑ありませんか。

○前田弘次郎議員

予算書の2ページ、収入が7億円強、それで支出が9億円強ありますが、2億円の赤字ということになります。この2億円を今後どのようにされていくのかというのが1つと。

接続を今後、これ一般質問でもお聞きしましたけど、今のところどれだけ進んでいるのか、今後どのような形で接続の強化をしていくのか。今現在、今度計画が有明地区の古賀地区だけが計画に入っております。今後、さきの計画が中止になりました。一応、これは説明もいただいております。そのへんのことで、集積するところの維持管理、例えば接続のこの件数を見て割当てをされていると思いますが、接続のないところは要するにそれだけ収入がないことになりますので、今後そのへんのことも含めて、どういうふうな形でやっていかれるのかをお聞きしたいと思っております。

○土井 一生活環境課長

まず、1点目の収入、支出での2億円に対するその補填の考え方というふうなことについて先に説明申し上げます。

予算書1ページのほうにもちよっと説明書いておりますけれども、今回資本的収入及び支出に対して約2億円の赤字の部分については、消費税及び地方消費税の収支調整額及び損益勘定資金のほうで補填することといたしております。

次に、接続に関して、接続率が伸びなかった場合の今後の対応の仕方というふうなことの質問かと思っております。

この環境整備のほうは、来年度をもってほぼ完了する見込みでございます。有明の古賀地区のほうで完了いたします。今、その接続についてなかなか伸び悩みをしているというふうなことが課題として考えておりますけれども、この接続については我々担当職員のほうもできるだけ速やかに接続をしていただくように、早期接続に対する助成金、補助金などもありますので、そういったものも説明しながら接続のほうを促してお願いいたしているところでございます。

ただ、当初予定しておりました深浦地区と横手地区、築切地区、あそこのほうが合併浄化槽区域のほうに見直しを行いましたことに対して、もともとの構想からいたしますと終末処理人口が減少するというふうなことで、その分収益のほうにも影響がするというふうなことで、今処理場自体のほうの処理能力のほうをマックスでなくて約半分程度に抑えております、処理場の施設、整備のほうを。この整備のほうを来年、再来年もう一回計画のほうを十分見直しまして、現実的な接続処理人口のほうを、急激な人口減少も白石町のほうでは起こっておりますので、そういったものを十分踏まえまして、今後の維持管理、コスト削減に努めながら下水道事業の会計の適正処理のほうを考えていきたいと思っております。

以上でございます。

○前田弘次郎議員

今の答弁の中で古賀地区の工事のことを言われましたけど、ちょっと私が聞いたところでは、そこの中で一部工事がいろいろ進んでないようなことを聞いております。計画的に今進んでいるのか、そういうふうに工事が今ちょっと滞っているというような事態は本当に実際あるのかお聞きしたいと思います。

○土井 一生活環境課長

今年度行っている古賀地区の環境整備のほうは、国道207号線沿いのほうをメインに行っております。その国道のほうの工事に際しまして、地中3メートルから6メートルぐらいの下のほうに本管のほうを埋設いたしますけれども、過去の地盤沈下によりまして幾度となく舗装の重ねがあって、実際試掘をしたところ、下のほうに50センチ以上のアスファルト礫が残っておるところがありまして、そういったところが実際工事のほうでちょっと難航いたしております。当初予定しておった設計書のほうの見直しを行わなければならないというふうなことで、国道に関することですので土木事務所との協議が必要というふうなことで、その協議時間とか工法の見直しについて若干時間を取っておる状況でございます。最終的には、今年度できるだけ速やかな工事を行いたいと思っておりますけれども、なかなかその工法のコスト的な問題もございまして、もう一回設計の見直しを行ったところについては場合によっては来年度、繰越しでの工事を行う箇所も一、二箇所ある予定でございます。

以上でございます。

○前田弘次郎議員

この工事、国道207号線沿いということで、近隣の住民の方から夜間工事ということで寝れないというようなことを、私直接は聞いていないんですけど、そういったことが本当に実際あっているのか、そこを執行部のほうでも聞かれているのかお伺いします。

○土井 一生活環境課長

今回の工事については、交通量が多いというふうなことで夜間工事のほうで主に工事、施工をいたしております。この工事に対しましては、住民さんのほうに一件一件チラシをお配りして周知を行い、工事に対しての理解を求めています。ただ、その工事に対しての眠れないとかという苦情は今のところ聞いておりませんが、ただマンホールを設置したようなところについて、最終的に舗装で行いますが、数年先にマンホールの舗装部分が下がるのではないだろうかというちょっと不安に思っておられる方がいらっしゃるしまして、その下がったことの段差に対して大きな車両等が通ったときにガタガタという振動、騒音があるんじゃないかという懸念を聞いております。それに対しましては、もし舗装等が下がった場合は速やかに復旧工事を行うというふうなことで理解を求めて納得いただいているところでございます。うちのほうにはそういった情報が、住民さんからのちょっと不安のお声は聞いております。

以上でございます。

○片渕栄二郎議長

ほかに。

○溝口 誠議員

同じ関連の質問です。

先ほど課長の答弁のほうで、この経費の執行をして健全な経営をしていきたいというお話がございまして、この下水道事業においては私たちの生活、ライフラインですので一日たりとも止めるということはできません。それで、先ほども言いました接続率も上がらないと、そういう中で工事が一段落し、あとはもう維持管理がかなり機械等も古くなっているし、設備も、今からその修理、保全にかなりお金がかかると思います。そういう中で、しっかり最初言いましたように生活に密着しております、止めるわけにはいきませんし。どうやって健全な運用をしていくのか、そこらへんのしっかりした方向性を町としても持ってもらいたいと思います。町長、いかがでしょうか。

○田島健一町長

ただいま下水道事業についての御質問でございましたけども、町内には公共下水道と併せて農集もあるわけでございますけども、なかなか接続率というのが公共下水道については上がってないという実態がございまして。

そういうところで、まだまだ本来は下水道の当初計画エリアというのが広がったわけでございますけども、設備投資が相当高くなるということでやむを得ず見直しをさせ

ていただいているところでございます。そういった中で、配管までできたところについては接続率をもっともっと高めていただきたいという私どもも努力はしているんですけども、なかなか将来に向かっての家族構成等々もございまして、苦しい状況にございます。そういったことで、見直しをさせていただいておりますので、とにかく健全運営のためにはもっともっと農集のことも含めて、トータル的に白石町の下水道というのをどうしていくかということもしっかりと考えていかなければならない時期にきているというふうに思います。これについては、今後もしっかりと執行部でも検討いたし、また議会のお諮りをしながら進めてまいりたいというふうに思いますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。

○片渕栄二郎議長

ほかに質疑ありませんか。

○岸川信義議員

関連のことになりますけれども、秀津の中で今回トイレが使えないと、今回というのは災害時のときで、そいけんが避難せんばらんとかという相談がありました。一応計算してあるんでしょうけれども、今回のその水の水圧によってそういうふうな原因に至ったのか、そのへんを今後も考えられるわけですよ。当然1つのデータとして残すということであれば、そのへんの対応を今後どうされるのかお聞きします。

○土井 一生活環境課長

今回の8月豪雨に関しましては、予想を上回る雨というふうなことで町内、結構広い範囲で浸水が発生いたしております。今回、農業集落排水、公共下水道を含めまして、浸水したエリアに関しましては、その原因と申しますのは、宅内配管の地盤沈下による僅かなひび割れや隙間、またマンホールの僅かな隙間から雨水が大量に流入したことによりまして、終末処理場のほうの処理能力を大幅に上回る雨水等が流入してきたことによって処理に時間がかかりかかっているというふうなことで、トイレが一時流れない、流れにくいという現象が生じております。これについては、本町だけでなく全国的にこういった問題は発生いたしております、雨水を想定した処理能力を大きく上回る規模の施設整備というのはなかなか難しいというふうなことで、その対応策については非常に難しいところはありますけれども、今後どういった対策があるのか、全国的な事例を見ながら検証させて、検討していきたいと考えているところです。

以上でございます。

○片渕栄二郎議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これで質疑を終わります。

討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第61号「令和3年度白石町下水道事業会計補正予算（第1号）」について採決します。

本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第61号は原案のとおり可決されました。

以上で本日の議事日程は終了しました。

明日も議案審議です。

本日はこれにて散会します。

10時03分 散会

上記、会議の経過を記載し、その相違ないことを証するため、地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

令和3年12月13日

白石町議会議長 片 渕 栄二郎

署 名 議 員 西 山 清 則

署 名 議 員 溝 上 良 夫

事 務 局 長 久 原 雅 紀